

## 更なる飛翔を!!

高橋 慎

栗山にオオムラサキの会ができて、  
ほぼ十年になる。オオムラサキとい  
うたった一種のチョウの保護から始  
めて、このチョウの保護のためには  
豊かな雑木林が必要であることや、  
もっと自然を大きな視野から見ると  
必要があることに理解を深めながら  
活動自体も成長してきたように思う。  
私たちは、栗山を進める活動のター  
ゲットを「身近な自然を残し守り育  
てること」において進めてきた。色々  
な分野にいる町民各層とかかわりを  
深めながら「栗山町にとって、自然  
と人間が共生することは何なのか」

を町に提案し、共に活動をしていく  
ことにつとめてきている。

ともすれば、「地域エゴ的になりが  
ちな運動を、心は世界」に通じるも  
のにといい思いは会員からの創意工  
夫を生みだしユニークな楽しい活動  
ができてきたように思っている。こ  
の活動に方向性のヒントや勇気を与  
えてくれたのは、栗山町で行われた  
自然観察指導員研修会をはじめ、北  
海道自然保護協会の歩み方であつた  
と感謝している。この十年間の間に  
も栗山周辺だけとっても、夕張川の  
源である夕張岳スキー場開発・馬追  
丘陵一帯のゴルフ場化・栗山の農業  
地帯に五月の寒風を吹かせ大打撃を  
与えるであろう千歳川放水路計画等  
大きな問題がたくさん生まれている。  
こうした問題も「北海道にとって本  
当はどうなんだ」といったことが道  
民レベルでしっかりと話し合い決め  
ていけるような北海道のシステムを  
つくっていききたいと思うし、北海道  
自然保護協会がこの三十年を節目に  
更に飛翔し、その役割を任せてくれ  
るものと期待してやまない。

(栗山オオムラサキの会 事務局長)